

## 令和3年度 第2回 交野市放課後児童会運営委員会部会 会議録

日 時 令和3年10月1日（金）午後6時35分開会 午後7時45分閉会

場 所 青年の家201号室

出席委員 田村部会長、浦谷副部会長、伊賀委員、橘岡委員、有山委員、平田委員、福山委員、高亀委員

事務局 西岡生涯学習推進部長、本多生涯学習推進部次長、佐伯青少年育成課課長、岡本青少年育成課課長代理、中島係長、大末、近田、伊藤山本指導員、河原指導員、石田指導員、西園寺指導員

傍聴者 2名

### 【テーマ】

放課後児童会の良いところ

事務局 みなさんこんばんは。定刻より5分ほど遅れましたが、ただ今から令和3年度第2回交野市放課後児童会運営委員会部会を開催させていただきます。

委員のみなさまには、公私ご多忙のところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

まず始めに、部会長からご挨拶を頂戴したいと思います。

部会長 みなさんこんばんは。緊急事態宣言も開けまして、この会議を開催することができました。緊急事態宣言が開けたということで、この部屋を21時まで使えると聞いておりますが、20時をめぐり、みなさまからご意見をいただければと思っております。どうぞご協力をお願いいたします。

事務局 部会長、ありがとうございました。それではこれより、案件に移ります。会則第6条により議長は部会長が務めることとなっておりますので、部会長よろしく願いいたします。

部会長 では、議事に移る前に本日の委員の出席状況について、事務局に報告を求めます。

事務局 はい、本日の委員の出席状況は、委員10名中7名、1名委員が遅

れてくると連絡が入っておりますので、7名ということで、交野市放課後児童会運営委員会会則第6条第2項により、過半数を超えておりますので、本運営委員会部会が成立していることをご報告いたします。

部会長 次に、本日のこの会議でございますが、交野市会議の公開に関する指針に基づき、前回公開と決めたとお思います。本日、2名の傍聴希望がございます。入室に対してご異議ございませんでしょうか。

委員 異議ありません。

部会長 それでは、ご異議がないようですので入室いただきます。

傍聴者 <入室>

部会長 それでは、部会の次第がお手元にあるかとお思います。案件1の「放課後児童会の良いところ、今後、10年後、20年後の児童会に『継承してってもらいたいもの』について」、に入りたいとお思います。

前回の会議録を読ませていただくと、保護者の方は現在の児童会に、非常に満足度が高く、指導員の職人芸だ、というようなお言葉もありました。そういうことは今後の児童会にも必要なものですので、継承していきたい、良いものをもっとたくさんみなさまに出していただけると、それを続けるためにはどうしていくべきか、という検証につながるのではないかと事務局と考えさせていただきました。事前にお知らせしておりますので、それぞれの立場でご意見をいただければとお思います。よろしくお願ひいたします。

委員 今回、事前に案件をいただいておりますので、いろいろな方から意見をお聞きし、A4の4枚にまとめてきましたので、読み上げさせていただきます。カテゴリーが8つに分かれました。

【おやつ案件】

- ・果物がうれしい。ヨーグルトやヤクルトとかもあり、とてもよい。

【指導員の先生の専門性】

- ・けがをした時適切に対応してくれる
- ・子どものことについて「子どもを見守ってほしい」と言うと、対応していただける。
- ・〇〇ちゃんと〇〇さんはケンカが多い。その辺を采配してくれる。
- ・いつも子どもの様子を教えてくれる。
- ・先生がドッジボールの審判をされながら、「あの子が危ない」など指

摘をされていた。常に目配せをされている。そのことを見たら、日ごろからよく子どものことを見ていただいているのが分かる。子どもが安心して預けられる。

- 例えばけん玉においても、強制ではなく子どもたちの自主性を尊重して、決して押し付けない。自然と子どもが夢中になる仕組みを作ってくれている。コマやけん玉で子どもに挑戦する能力を意図的に企画されている。保護者としてみていたら、トラブルがあった時も双方の話を聞いて子どもたちで解決できるように後ろで見守っていただいている。どのようにしたら解決するのか、子どもの成長を考えながら取り組んでおられる。
- 家ではけん玉やコマなど教えることができないので、昔遊びを教えてもらえてとてもありがたい。子供を安心して預けることができる。
- 安心感のある指導員の先生方、子どもや保護者にも親身になって接していただけた。経験豊かで安心して預けられた。けん玉やコマも外遊びもできた。
- 私市分室に分かれる時の説明会で、保護者は反対だったが指導員の先生から「他の分室では、分室ができてすごく安心できた。分かれた方が良い」とご経験から話されたことが印象に残っている。結果的にはよかった。
- お迎えに行ったとき、必ず子どもの様子を教えてくれて安心して預けることができた。
- 指導員の先生がすばらしい。やる気を出させ、上級生に責任を持たせて、トラブルの仲裁もされている。
- かまぼこ板一つで熱中させる。けん玉やコマ回しもよかった。勤労感謝の日のプレゼントもよかった。
- 5年生の子は今でも児童会に通っている。児童会が大好き。先生の経験が大きく、子どもの性格を分かったうえで接してくれている。まさに居場所である。子どもが問題を起こしても、一人の個人として子どもを見ていただき、どのように成長させるかを考えていただいている。
- 子どもが悪いことをしても、必ず話し合いの場を持たせてくれる。閉室の時間まで子どもは児童会にいたいと話している。
- 指導員の先生がすばらしい。かまぼこ板一つで子どもをあれだけ熱中させるのはすごい。上級生には上級生としての責任を持たせ、行事も楽しんでいた。  
けん玉やコマ回しなども経験できたのが良かった。かまぼこは家で一人でやっていて、家で母親相手にやっていた。けん玉やコマも子どものやる気を引き出していた。
- 家でできないことを児童会ではやってくれている。学校ではない教育の場である。下の子は一年生ですが、より細かく見てくれている。

- ・「早く迎えに来るな」というくらい児童会が好きで、やりたいことをうまく引き出してくれる。人として育ててもらえる学びの場である。
- ・児童会の先生のよいところは、ご指導をいただいている先生方の存在だと思います。全体に児童の性格や個性を把握してくれているので、安心して子どもたちをお願いできます。

#### 【学校との連携について】

学校も児童会も公設なので、連携が取れているという話です。

- ・教室に忘れ物をしたとき、取りに行っていたりしている。
- ・子どもの様子についても、常日頃から連携をしてもらっている。
- ・学校と児童会の先生で引継ぎがうまくできている。児童会ではどの先生も声をかけてくれる。ベテランの方ばかりなので、子どもの持ち上げ方もうまい。
- ・放課後等デイサービスは職員の出入りが多くバイトも多い。コロナの時は、放課後デイはしびしびだった。

#### 【父母会について】

- ・人と人のつながりを感じる。父母会を通してつながることができる。父母会も面倒だがやってよかった。

#### 【放課後児童会の体制について】

- ・学校では1年で担任の先生が交代しますが、児童会は長年指導をされるので、子どものことを先生が知ったうえで指導をされている。なので安心して預けられる。
- ・父母会の行事の時に、普段から指導員の先生が「児童会は第二の家」と言われている通り、「おかえり」から始まる教育である。
- ・交野市のいいところですが、他市では指導員が荒っぽくて、行くのを嫌がっていた。とても家庭的な雰囲気である。

#### 【子ども同士のかかわりについて】

- ・初めて児童会に子どもを預けた時不安だったが、上級生にかわいがってもらってスムーズに学校生活を送ることができた。学年が上がると逆に我が子が小さな子のお世話をしている。
- ・代々と受け継がれている伝統である。「学年を超えたつながり」である。

#### 【遊びについて】

- ・今あそび場がない。ボール禁止・静かにしろと言われる。特に地域柄大きな公園もなく、うるさいといわれる。その点児童会は思いっきり遊べる。

- 子どもを安心して預けられるところが良い。先生は子どもの様子を報告してくれ、何かあればすぐに対処してくれる。けん玉やコマなど昔遊びも取り入れてくれている。
- 広いグラウンドで体を動かすことができる。
- また昔遊び（けん玉やコマ）など、自分では教えることができないような遊びを教えてくれたり、お店屋さんごっこやお誕生会など集団でしかできない行事もさせてくれたり、いい経験をさせてもらっていると思います。
- 児童会での班は、縦割りの班なので、学校とは違う交流があるのもいいと思います。

#### 【障がいがある子どもについて】

障がいのある子どものお母さんにお聞きしてきました。

- 障がいのある子どもに加配の教員をつけてもらって活動をしてきた。就学前には身辺自立と食事ができるようにと言われていた。中々なり手がなく、辞められる指導員が多い中、加配の先生としてベテランに来ていただいた。子どもは変化に敏感でふだんつかっている支援学級を、児童会でも使用させてもらったが、泣いて入らなかった。加配の先生が暑い中ずっと付き添ってもらい、手厚くやっていた。シールで励ましたり、自宅から私物のおもちゃを持ってきていただいた。カードを作ってもらったりした。そのおかげで楽しく過ごしている。放課後デイサービスは子どもどうしのつながりがない。児童会では、他学年の子どもとつながりがあり、自然な流れで付き合いをしてもらっている。得意なことを伸ばそうとされていて、親身なって向き合ってもらっている。そのおかげで小1から発語が増え、今では意思疎通が取りやすくなってきた。学年を超えた子ども同士のつながりが持てるように育てていただいている。

#### 【生活リズムについて】

- 宿題、遊び、おやつなど生活のリズムが規則的なので、行動の切り替えが早い。親として安心である。
- 集団生活の中、上級生下級生と接する中で、自分のふるまい方が分かる。

いろいろな方から意見を聞いたことをまとめてみました。特に、障がいがある子の保護者お話ししたときに思ったのが、障がいのある子とない子が一緒に学ぶ、ということは、場だけ設定してもそれだけでは意味がない、ということなんです。そうではなくて、障がいのある子がこのようなかたちで楽しく過ごせる環境設定をしながら、障がいのない子もおやつするときなど一緒に過ごす。これはまさにインクルー

シブ教育を地で行く話だと思って、感動して聞かせていただきました。

インクルーシブ教育は、ともすれば、ともに学ぶ空間だけを設定すればいいのではないかと、と言われるようなことがあるんですが、そうではなくて、どんなことも、もう少しで手が届く、というような目標を、段階をつけながら成長・発達させていくという意味において職人芸だと申し上げておきたいと思います。

部会長

リサーチしていただき、ありがとうございました。エピソード等も目に浮かぶようでした。

こういう放課後児童会の中での良いことがたくさん出ました。他に、同じことでも違った視点でも結構ですのでお願いします。

委員

学保協として、全児童会にアンケートを取らせていただきまして、各児童会からそれぞれ回答をいただいたものをA4で6枚にまとめてきました。ざっと読んでいただくと、やはり共通してくるところが出てきています。おっしゃるとおりカテゴリーに分けると7つか8つに分かれてきますが、やはり指導員の先生に対する感謝のお言葉とありがたいという意見は全児童会から出てきています。

一部抜粋しますと、例えば倉治児童会の方は、お迎えに行った時に指導員が児童会での様子をきちんと教えてくれる、親心の目線で、と書いてありますけども、そういった目線で関わってくれるのでとても安心であるというようなお言葉がありました。また、星田児童会からは、指導員がしっかり子どもに向き合ってくれて、加配の指導員も年齢、性別がさまざまなので、そのおかげで子どもたちが過ごしやすいように感じている、というようなことで、言い出すときりがありませんが、全児童会でそういったものが出てきています。

生活に関しては、メリハリをつけてくださるとか、長期休業期間にも宿題・勉強の時間を取って、お昼寝の時間を取って、遊びの時間を取って、という、ともすれば生活リズムが乱れそうなところを、生活をピシっとしていただいていることが大変ありがたいなという意見も大変多くいただいております。そういった部分においては、学校の先生より頼りにされているという意見もあります。また、おかげさまで安心して預けて、安心して仕事ができますというような意見が出ていることが特徴的かなと思いました。

あとは、ほぼ言っていたことなんですが、私市児童会では、子どもに児童会で楽しいことを聞くと、「全部」という回答でした、ということから、楽しく過ごせることが見て取れるのかな、と思っています。

全児童会から出ていたのが、昔遊び、コマ、けん玉等の取組みはありがたいと。さっきもありましたように、なかなか屋外で身体をめい

っぱい動かすことができない中、身体使って、頭使ってという遊びを取り入れ、大会などもやってくれて、ということは大変ありがたいですし、これからも10年先も20年先もこれは取り組んでいってほしい、ということが出ていました。

やっぱり指導員への感謝の次に、指導員の入れ替わりが激しいと、このような対応は望めないのではないか、というところで、頻繁に指導員が変わることがない、ということを経験していただくと。中での異動はあるにせよ、1人か2人は知った先生が残ってくるので、そういうことであれば、子どもも安心していけるというようになるのではないかと、という意見も出てきています。

このアンケートに関しては一応まとめてきていますので、提出させていただいた方が良いのか、どういう取り扱いをすれば良いのかをお聞きしようかなと思っています。

今回あまり日が無かったので保護者の一部にしかアンケートを取っていないということもあるので、例えばホームページなどにのせて公開いただいて、広く保護者のみなさまにこんな素敵なおところがあると知っていただくこともいいのではないかと思います。

個人的には、保護者が参加して運営していくというこの放課後児童会運営委員会そのものは、保護者は入れ替わったりするのですが、何かしら参加する機会を設けていただいて、意見を聞いていただくことができるというところが素敵だと思っています。トップダウンではなく、このように我々の意見を聞いてくれるという体制そのものがとてもいいと思います。仮に民間委託という話になったとしてもこのように意見を吸い上げる会議の場、何らかのかたちで意見を吸い上げてくれるということがどのような体制になっても必要ではないかと思えます。

部会長

ありがとうございました。耳の痛いお言葉もあつたんですが、「おかえり」から始まる学びだと言われていましたので、第2の家だと。学校はやはり教育の場ですので、それぐらい指導員は保護者のような存在になるのだということがよくわかりました。資料の取り扱いについてと言われていましたが、事務局いかがでしょうか。

事務局

アンケートの件ですね。本会議でかいつまんで説明いただいておりますので、それを参考資料として載せさせていただいていいのであれば私達としてはいただきたいですし、今後さらにより児童会を築き上げるために参考になるものかと思えます。これをホームページ等で公開してもいいということであれば、ぜひ載せていきたいと思えます。

ただ、アンケートを取る時にはおそらくそこまで保護者の方におっしゃっていないと思いますが、そのあたりは大丈夫でしょうか

委員                    そのあたりを確認してからということですか。

事務局                そうですね。アンケートですから無記名なので大丈夫かとは思いますが、そのあたりをご確認していただいて、よろしければ事務局で掲載していきたいと思えます。

部会長                ありがとうございます。他にご意見はありませんか。  
だいぶ重なる部分があるとおっしゃっていたんですけども、今日は指導員の方もいらっしゃるということなので、昔遊びのことがすごく出ましたし、他には、研修もありますが、その日その日のトラブルについては先輩方がこれまで経験を積み重ねて解決できるようになったというお話がありました。昔遊びなどは、カリキュラムとまではいかないまでも、全市的に決めてやられているのかなど、そういうことをもしよろしければ聞かせていただけたらと思えますが、いかがでしょうか。

指導員                ○○児童会で指導員をしております、私はかれこれ 24 年近くこの仕事をさせていただいておりますが、私が入った時にはコマ遊びやけん玉遊びを先輩指導員から教わって、どの指導員もそうして子どもたちに伝えていくというのがほとんどだと思えます。

基本的には指導員全員が知っているので、新しく入ってきた指導員には古い指導員が教えていくというかたちで覚えてもらって、子どもたちに教えて一緒に楽しんでいるという状況です。

委員                    全体的に感謝の言葉がありましたが、遊びも含めて全市的にそのようなかたちになっているのでしょうか。

指導員                はい。「遊びの学校」という冊子がどこの児童会にも置いてあると思うんですけども、けん玉あそび、アイビーパズル、コマや一輪車など色々載っていて、遊び方があるんです。古い指導員がそれを作られてそれを継承して行って子どもたちに教えているんですけども、主にコマとけん玉は各児童会でやっていると思えます。夢中になるならないは子どもたちによって違うと思うんですけども、夢中になる児童会ではすごく流行って、5段とか4段とかのけん玉の達人が出てきたり、コマも達人が出てきたりで、大人ができないような技を子どもがやっているという状況です。

委員                    かまぼこ板の遊びもですか。

指導員 私もかまぼこ板1枚で、子どもたちがあんなに盛り上がるものなのかとびっくりしました。

委員 家でもしていますよ。

指導員 そうなんです。かまぼこ板を首のところに挟んで、一番の人が頭にのせて落として、相手の立てているかまぼこ板を倒すという遊びなんです。2つのグループに分かれてするんですけども、Myかまぼこ板を作っている子どももいるんですね。厚さとか高さがあるんです。太いかまぼこ板だとちょっとしたことでは倒れないとか、薄い板だとだめだ、などと言って、子どもたちが工夫しながら楽しんでいます。雨の日に室内が広いところであれば注意して、危なくないように遊んでいる状況です。盛り上がっています。

部会長 ありがとうございます。もう20年以上前からやはりいいものは残っていくということですよ。新しい遊びもたぶん重なっていくんでしょうけれども、それぐらい今まで指導員が子どもが集中できたり楽しめているということで、やったらいいよということで、おそらくすすめて下さっているんだと思いました。

他いかがでしょうか。

委員 私は〇〇児童会ですけども、指導員にはみんな感謝していますし、このような会に出させてもらって青少年育成課のお話を聞いて、こんなにみなさんが頑張っておっしゃっているというのが分かって、今年役員になって良かったな、と思います。

影で頑張っておっしゃっているのが一番わかったのが、これも公設ならではだと思っただけですけども、新型コロナウイルス感染症が拡大した時に、明日から仕事をずっと休まないといけないと思っていましたが、本当に早い時期に朝から1日預かって下さって、普段児童会に来ていない子どもたちも一時預かりができたことです。そういうのはやはり民営化だとあんなに素早くできなかったと思います。ほぼほぼできないと思うんです。じゃあ、アルバイトを増やそうとうことになるとまた大変だと思いますし、今回公設だったからこそやって下さってすごく感謝していますし、公設で良かったな、というのが私の一番の気持ちです。他市のことは分からないですけども、こんなに素早く対応してくださった例はあるんでしょうか。

事務局 そうですね、本市のように朝から開会した自治体もありますし、また、学校の方で子どもの見守りをするというような、だいたい2パターンですね。

後半の方はかなり、ご家庭で子どもを見てあげられるところは見て下さいというようになっていて、それはどこの自治体もやっていたとは思いますが、だいたいその2パターンで、学校で見るか放課後児童会で見ると、という流れになっております。

委員

それも学校との連携がすごくうまくいっているからスピード感もあったと思うんです。ここが民間委託とはちょっと違うのかな、と思うんです。

先ほど委員もおっしゃっていたように障がいをもっている子、それから、今新型コロナウイルス感染症の影響で、虐待を受けている子がすごく増えているんです。交野市ではあまり表だっては分からないですけれども、全国的にはすごく増えてます。障がいを持っている子もすごく増えています。その子たちに関する連携が民営だと切れてしまいます。先ほど言ったように、指導員・アルバイトの方が親身になってやって下さったということなどが、果たして民間委託でして下さるのかということは、私はずっと考えています。指導員が頻繁に変わる状況だと困りますし、結局は指導員への感謝になりますが、今の体制はすごくありがたいと思って聞いていました。

話がまとまりませんが、そういった支援が必要な子は、学校との連携、放課後児童会、放課後デイサービスなどとの連携や情報のやりとりを今後もできるようにさせていただきたいと願っています。

部会長

ありがとうございました。他にありませんか。

委員

少し補足ですが、確かに令和2年4月に何とかしてほしいということで、保護者として、どうしても必要な時に必要な児童会であって欲しいと申し入れさせていただくと、すでに体制ができていると逆に書類を渡されたぐらい、スピード感をもってやっていただいたと思っています。

あの時は指導員さんが色々とローテーションを組んだりされていたり、確か給食の職員に応援に来ていただいていたと思うんですけれども、それは非常に頼もしくて、オール交野市で取り組んでいただいたと思いました。

確か隣の市は放課後児童会の開会が止まっていたと思うんです。北河内のどこかの市の放課後児童会の開会が止まると、私たちはすごく不安になるので、交野市は運営をしていただいたのはすごくありがたかったです。

部会長

ありがとうございます。

事務局 先ほど学校の先生も、という話がありましたが、会長もご存知だと思いますが、教職員の方々も応援していただいてやって下さったので補足させていただきます。

委員 すみません。抜けていました。

部会長 私も何日が行かせていただきましたが、学校で見る姿とは違う姿が見られましたので逆に良かったと思っています。しかし、教職員も行動制限しなさいというぐらいなので、特に〇〇小学校などでは職員室が密になっては困るのでテレワークみたいなのところもあったんですけども、放課後児童会の運営に参加できたのは、私は非常に良かったと思います。  
他にいかがでしょうか。

委員 先ほど委員から児童会でとったアンケートの話があったのですが、2つ質問をしまして、1つ目が今の児童会のいいところが、2つ目が今後も継承してほしいこと、この2つでアンケートを取っているんですけども、先ほどおっしゃったように各児童会で一部の保護者にしかアンケートが取れていないんです。全員ではないんですけども、全児童会ほとんど同じ内容です。ほとんどが1番の今のいいところを2番の質問で継続してほしいということで、ほとんど答えが同じだったんです。今の現状を継続してほしいという保護者の思いが募っていて、全児童会同じだったのでびっくりしました。

それから、指導員は教職員ではなく、親でもなく祖父母でもなく特殊な存在だと思っていて、そこで親しみをもってメリハリある生活をしながら昔遊びなど、保護者からは教えてもらえないようなことしたり、時間を割いて話をしてくれるという、この今の現状を継続してほしいという思いが募っていて、青少年育成課の皆さんにはぜひ熟読していただきたいと思ったアンケート内容でした。

部会長 ありがとうございます。あらかじめ準備していただいていたのでスムーズに意見が出ておりますが、指導員の入れ替わりが激しいと、これほどいいものが残っていくという継続性は難しかったというお話がありましたが、その工夫はどこにあったのかと素直に思いました。これは指導員にお聞きしたらいいのか事務局に聞いたらいいのかかわからないですが、20年もしていただいていることもありますし。そのあたりで思うところで結構ですので、指導員の先生よろしいですか。

指導員 私が指導員を始めた時は4年生までしか児童を預からなかったんです。今は6年生まで預かっているんですけども、それまではだいた

い4年で指導員の勤務場所を異動していくというかたちがほとんどでした。今は状況が変わってきて4年以上同じ児童会にいる方もいらっしゃいますし、新しく入られた方は1年とか2年で異動されたりする方もいらっしゃいます。主になる指導員が一人長い間その児童会にいらっしゃいますので子どもたちを継続して見られている状況だと思っています。

長く子どもを見させていただいていると、それこそ自分の子どものように見させていただいています。私ですと長年勤めていますので、1年生のとき見た子が今30歳になっている子どももいるんです。ファーストフード店のドライブスルーへ行くと「いらっしゃいませ。」と声をかけてくれる素敵なお姉さんになっていたり、スーパーへ行くとレジを打っているとか、色々な所に卒会や卒業した子の成長を見ることができるので、それが指導員の仕事の醍醐味かと思っています。

部会長           はい。ありがとうございました。

指導員           私も25年指導員をしまして、それこそ今年の子どもの保護者が教え子だったんです。すごく嬉しくて、見た目は子ども時代そのまま、子どもさんもすごくかわいくて、この仕事をさせてもらって子どものかわいさを実感させてもらいます。

保護者の方もすごくありがたいことを言って下さっているので、他の指導員にもこの場に来ていただいてこのような言葉を聞いていただけたら、やりがいももちろん感じられると思いますし、それがこの仕事を続けていける原動力になっているのかと思います。

指導員           私は今年17年目になりまして、気付いたらこんなにも続けられていたということなんですけれども、私も指導員の先生方がおっしゃっていたように子どもたちの成長がとっても嬉しくて、この間まで縄跳びで二重跳びができなかったのがいつの間にか5回できるようになったりだとか、子どもたちがいつの間にか成長している姿に気付けた時がやっぱり嬉しいです。

保護者の方に感謝の言葉を伝えていただけるのが励みになっています。嬉しくて胸がいっぱいです。いろいろな子どもたちが居るんですけれども、一人ひとり違うのでたくさん子どもたちに出会えて良かったと思っています。

指導員           私は指導員になってまだ5年しか経っていないんですけれども、私がかへこんだ時に、すごく生きる力をもらえるな、とっていて、それはこの仕事をしていていい経験になっていると思います。大人になって社会に出るとしんどいこともある時に、子どもたちと遊んでいると

自分も子ども目線になって考えている時もあるので、いい仕事に携わったと思って、今も楽しくこの仕事をさせてもらっていて、それは本当に感謝しております。

部会長           ありがとうございます。異動があるということですが、異動はどなたが決めるのでしょうか。

事務局           基本的には学校と違って、担任の先生が1人というようなことではなく、最低2人以上いるのが児童会です。中には指導員が4人いるところもありますし、5人というところもありますけれども、一気に変えるというのは子どもの環境が一気に変わることになりますので、そういうことは避けながら考えています。ただ退職される方もおられるので少しずつ変えていかないとまわらない児童会もありますので、そういったところは配慮しながら異動は青少年育成課が行うのですが、当然指導員の先生方にも聞き取りをしながらこういった配置がいいのかを考えながらやっているところです。

部会長           それでうまく継続したかたちで指導員の方の研修というか、ノウハウもうまく引き継がれていっていますし、すごくやりがいがある仕事と言っていたのは、本当に教師もそうなので同じ思いでしょうし、さらに近いと思いました。大人になった子どもたちから声をかけてもらえるのは、指導員と子どもたちの関係が密だったんだと思いました。

受け継いでほしいということが本当にたくさん出てきているんですが、他にいかがでしょうか。

委員           児童会が発展していく中で反対に子ども会の方は保護者が忙しくて衰退していっていて、風前の灯のような状態です。昔は子ども会が子どもの居場所の一翼を担っていたんですけども、今はそういう状態で担えなくなってきたので、ますます児童会の役割は大事だと思っています。今の状態で続けていただけたらと思っています。

部会長           ありがとうございます。先ほど父母会でも人との関わりがあって大変だけれど、やって良かったというご意見もありましたので、保護者の方も全くそういうところを切るつもりもないと思うので。子ども会が今児童会に、ということで。

委員           私たちの子どもですと、今30代になるんですが、子どもの頃はたくさん子ども同士で遊んで、下の子どもたちの面倒もみてあげて、ということがたくさんあったんですが、今は個人で遊んでいるような感

じで。たくさんいても個人でゲームをしていて、一緒に遊んでいるという雰囲気が無いような気がするので、今の話を聞いていると児童会ではみんなで遊んでいるようなので、いい関係だな、と思って聞いていました。そのような関係性を続けていっていただけたらな、と思います。

部会長           ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

委員           テーマが10年後、20年後にも継承してほしいことということなので、どうして交野の児童会が45年間続いてきたのかを考えたのですが、深すぎてわからなかったんですけれども、45年間続いてきたというのは先ほど委員がおっしゃっていたようによく保護者の意見を聞きつつ現場の指導員さんと向き合って青少年育成課が軸となってやってきて下さったからだと思います。

自分の子どものことですが、保育園の時に療育指導を受けた方がいいのではないと言われる子だったんですが、児童会にもうまく溶け込めるのかと思ったこともあって何度か見学に行かせてもらったりする環境を整えてもらって、うまく溶け込めることができ、本人がずっと続けていきたいと言える環境を作ってくれたことにすごく感謝しています。でこぼこのある子でもスムーズに受け入れてくれる体制があったからこそ続けてこられたというのがあるので、そのような環境をこのまま続けてもらえたら、と思っています。

部会長           はい。ありがとうございます。本当に個々への対応というのが感じられます。他にいかがでしょうか。

委員           よろしくをお願いします。〇〇児童会アンケートのところで自分もそうだな、と思ったのがあって、指導員は親でもなく学校の先生でもないんです。親や先生に言いにくいことも言えて、それを聞いてくれる、そういう立場の指導員さんに感謝しているということがあります。

部会長           ありがとうございます。

委員           私個人のことですが、私は児童会っ子なんです。河内森駅の近くの水道局の横に当時児童会がありまして、確か岩船と私市と交野が合同でやっていた時代です。私市小学校が終わったら一人で電車に乗って児童会まで行ったのを覚えています。母がその当時の先生方と年賀状のやりとりをまだしています。大変お世話になりました。よく怒られたり、褒められたりもし、けん玉もコマも教えて下さいました。そういう母世代の親たちが当時の児童会の先生方と切れ切れではあるけれ

ど今もやりとりをしている密な関係は素敵だと個人的には思います。

この間娘とけん玉勝負をしましたが、意外と覚えていて止めケン勝負で引き分けました。当時から児童会でけん玉をやっていて、今同じ土俵でけん玉勝負ができたこと、あと一輪車もそうなんですけれども、当時覚えてきた昔遊びなどを今娘がやっていることが嬉しいなあと思っています。

指導員の先生方と青少年育成課の方の努力のお陰で続けてこられて今に至っていると思うので、それをこれからも継続して娘が親になった時にまた同じようにできるというのは児童会以外にあまり無いように思います。先ほどおっしゃったように当時は子ども会が活発だったんです。子どもどうしの関係があって、上の子にお世話してもらって、自分が上になったら下の子のお世話をする、クリスマスカードを作ったりは案内を出す、というような関係性がありました。今は子ども会の案内は来ますが、少ないですし、新型コロナウイルス感染症の状況は別として徐々に途切れかけているな、と思います。そういう縦のつながり、異年齢のつながりを体験できるというのが児童会のいいところだと思います。当時自分が児童会でしていた遊びが継続してきたことで今けん玉勝負ができてるのは嬉しいですし、そういうふうに指導員の先生方ともつながっていただけたらと思っています。

部会長           ありがとうございます。

委員             学校から見た児童会はどうですか。そこをぜひ語っていただきたいです。

部会長           先ほどからもお話が出ていますように、やっぱり子どもは忘れ物をしますので、おうちの方と忘れ物を取りにくるのと同じように児童会から職員室へ指導員と子どもと一緒に来ていただいて、「自分でちゃんと言いなさいよ。」と言いながら、おうちの方と同じような対応を下さっています。

先ほど障がいのある子どもの話がありましたが、他のいろいろな子どもさんでも、「今日、ちょっとトラブルがあって泣いてしまったんです。」と、帰るまでに解決しなかったり、ちょっとしっくりいっていない子がもやもやししながら児童会へ行く時には、必ず担任が指導員の先生にお声を掛けています。児童会ではなくおうちへ帰る子には帰りつくまでにおうちの方へ電話をいれたりするのと一緒に、そのようにさせていただいたら指導員の先生方はきちっと受け取って下さっていると感じます。ですので子どもたちが「ただいま。」と嬉しそうに帰っていくのは指導員の先生方がおうちの方と一緒になんだと思っています。親と学校が連携をとるのと同じように、学校と児童会は

連携がとれていると思いますし、これからもそれは必要だし、守っていかないといけないと思っています。みなさんと同じだと思っています。

そろそろ1時間が過ぎました。だいぶ準備して下さっていたのでみなさんの意見がスムーズに出たのかなぁと思いますが、まだ言い足りないことがありましたらどうぞ。

今日は10年後、20年後に児童会として残してってもらいたいこと、そのために、今いいところは当然残してってもらいたいというのが先ほど委員さんの方からありましたが、本当にそのとおりだと思いました。そのためには、指導員さんのお力は非常に大きい、そこをどう守っていくのかというのが前にも出ていましたが、人員確保というところが次の課題になっていくのかと思っています。

今日の会議録を私も読み返しながら、次の第3回の部会はどういうテーマで、どういう資料を作っていただいたらスムーズなのか、ということを考えていきたいと思っています。そのあたり次回を目指して何かご意見ございませんか。

それでは今日出していただいたお考えや、ご意見を次の部会に活かせるように私の方と事務局とでテーマなり資料なりを考えていくというかたちでよろしいでしょうか。

それでは今日たくさんのご意見をいただけたということで、案件1の「放課後児童会の良いところ、今後、10年後、20年後の児童会に『継承してってもらいたいもの』について」を終わります。

次に、案件2「その他」ですが、何かございますか。

事務局

部会の今後のテーマですが、現在、事務局で指導員の処遇等に関する資料について準備を進めているところですが、職種や勤務日数・時間等の勤務形態に違いが大きく、わかりやすい資料の作成に時間を要する状況です。

もしそれ以外の点でこういうことをテーマにしてほしい等ございましたら、青少年育成課に随時メール等でもいただければ、お調べし、次回の部会のテーマにさせていただきますので、ぜひよろしくお願いいたします。

部会長

その他にございませんか。

事務局

先ほど委員がおっしゃっていただいた資料の方ですが、部会への提供資料というかたちでまたご確認いただいて、公開できるようであれば公開する、というふうにさせていただきたいと思っています。委員の方でまとめていただいたもう一方は、もしご提供いただけるようであればお願いできますか。

委員                    わかりました。データをお送りします。

部会長                 それでは、資料の方は提供していただけるということでよろしいですか。

委員                    はい。大丈夫です。

事務局                 前回、定例会みたいにしていきたいということだったんですが、みなさんにご意見を聞かせていただきますと、事前にお知らせがあればいつでもいいよ、ということでしたので、我々が資料を作る段階ですとか、本体の運営委員会の方もありますので定例で第何週の金曜日などではなく、また随時ご案内させていただくようなかたちで今後も運営していきたいと思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。

部会長                 よろしいでしょうか。決めるというのではなく、資料等が揃った段階でご案内させていただくということですね。  
                              その他いかがでしょうか。

委員                    すみません。次は8日ですか。

事務局                 それは部会ではない方の本体の運営委員会の方のご案内になります。

委員                    毎週開催されているというのと、報酬について、整理して教えていただきたいと思います。

部会長                 部会と運営委員会両方なので、私たちからすると毎週になってしまいますね。お子さんを家において毎週会議となるとやはり厳しいと思いますし、お仕事を持っておられる方が 18 時半にというのは厳しいのではないかと思います。8日は本体の運営委員会ですけれども、そのへんの変更などはできるものでしょうか。

事務局                 今回は既にご案内をお送りしておりますので。他の会議も踏まえて、もう少し間隔も考えさせていただいて、第3回の部会と運営委員会の日程を考えさせていただくということでいかがでしょうか。

部会長                 はい。それでは3回目以降は配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。  
                              以上で令和3年度第2回放課後児童会運営委員会部会を終了します。

委員の皆さんにおかれましては、円滑な議事進行にご協力いただき  
ありがとうございました。